

## 2025年度 外国人招へい教員事業

2026年3月31日現在

	学部・研究科	学科・専攻	招へい研究者所属機関名	招へい研究者職名	招へい元国名	招へい期間	滞在日数	教育研究活動内容
1	創域理工学部	社会基盤工学科	Indian Institute of Technology, Kanpur	教授	インド	2025年7月7日 ~ 2025年8月4日	29	地盤工学における室内・原位試験と数値解析手法の融合に関する研究
2	経営学部	経営学科	タマサート大学	講師	タイ	2025年7月8日 ~ 2025年7月21日	14	イノベーション、技術経営、サステナビリティ、戦略策定（特に未来洞察、ロードマッピング）
3	理学部第一部	化学科	University of Birmingham	教授	イギリス	2025年5月18日 ~ 2025年5月21日	4	超分子化学に関する研究
4	工学部	建築学科	Maryland Institute College of Art	教授	アメリカ	2025年7月9日 ~ 2025年8月6日	29	バビロン設計・制作ワークショップ
5	先進工学部	物理工学科	Indian Institute of Technology Madras, Chennai	准教授	インド	2025年7月13日 ~ 2025年7月27日	15	自己駆動粒子および集団運動の物理学
6	生命科学研究所	生命医学研究所	Lund University	研究者	スウェーデン	2025年8月25日 ~ 2025年9月2日	9	細胞競合マーカーの探索
7	創域理工学部	情報計算科学科	Institute of Marine Research	教授	ノルウェー	2025年9月21日 ~ 2025年10月19日	29	海洋データに関する統計解析
8	工学部	電気工学科	Ostbayerische Technische Hochschule Regensburg	教授	ドイツ	2025年9月28日 ~ 2025年10月8日	11	IoTデバイスに実装可能なベアリング異常検知手法（Edge AIプロジェクト）、ニューラルネットワークを用いたアクティブノイズキャンセリング手法（音響信号処理に関する共同研究）
9	教養教育研究院	北海道・長万部キャンパス教養部	ストラスブール大学	准教授	フランス	2025年10月2日 ~ 2025年10月31日	30	オリンピックAIアジェンダにおけるバーチャルスポーツの展開 ーパリ2024におけるステークホルダーの視点からみたスポーツ化の可能性と課題
10	生命科学研究所	生命医学研究所	ストラスブール大学	准教授	フランス	2025年10月18日 ~ 2025年10月30日	13	host-pathogen interaction and RNA biology in inflammatory diseases
11	教養教育研究院	葛飾キャンパス教養部	Alfréd Rényi Institute of Mathematics	特別研究員	ハンガリー	2025年11月17日 ~ 2025年12月2日	16	非局所型シュレディンガー作用素の摂動問題とスペクトル・散乱理論の研究
12	理学部第一部	応用数学科	Baggio School for Engineering	退官済み	フランス	2025年12月5日 ~ 2025年12月17日	13	Continued fraction Expansion, Transcendence of values of Mahler functions, Irrationality and transcendence of series and infinite products.
13	薬学部	薬学科	Iowa State University	教授	アメリカ	2025年12月6日 ~ 2025年12月12日	7	バイオフィォマティクスによる微生物細菌叢の研究
14	先進工学部	生命システム工学科	A*STARシンガポール科学技術庁	主席研究員	シンガポール	2025年12月7日 ~ 2025年12月11日	5	Chemical Genetics
15	創域理工学部	情報計算科学科	Middlesex University	准教授	イギリス	2025年12月7日 ~ 2025年12月21日	15	バイオフィォマティクス
16	創域理工学部	社会基盤工学科	Chung-Ang University	教授	韓国	2026年1月19日 ~ 2026年2月12日	25	交通工学
17	先進工学部	物理工学科	ブラウン大学	教授	アメリカ	2026年2月24日 ~ 2026年3月9日	14	断層形状が地震すべりに与える影響
18	工学部	工業化学科	University of Strathclyde	准教授	イギリス	2026年3月4日 ~ 2026年3月18日	15	Conjugated materials for solar fuel production
19	工学部	工業化学科	University of Bayreuth	正教授	ドイツ	2026年3月5日 ~ 2026年3月18日	14	Photocatalytic N <sub>2</sub> reduction:Pitfalls,photocharging,and reactor desingn
20	工学部	工業化学科	University of Michigan	准教授	アメリカ	2026年3月7日 ~ 2026年3月21日	15	On the Promise of Photocatalysis for Solar Hydrogen Production:A Materials-to-Reactor Design Perspective
21	理学部第一部	応用化学科	The University of Messina	正教授	イタリア	2026年3月8日 ~ 2026年3月13日	6	Green fuels and ammonia through plasma-assisted processes
22	理学部第一部	応用化学科	University of California, Davis	教授	アメリカ	2026年3月8日 ~ 2026年3月14日	7	Improved Transition Metal Oxynitride Semiconductors for Solar Water Splitting Applications
23	創域理工学部	先端化学科	University of California, Irvine	教授	アメリカ	2026年3月8日 ~ 2026年3月15日	8	Insights into causes of exceptional performance from Kudo Sensei's photocatalyst materials driving water splitting reactions
24	総合研究機構	総合研究院	The Hong Kong Polytechnic University	教授	中国	2026年3月9日 ~ 2026年3月13日	5	Semiconductor Photoelectrode Design for Solar Fuel Production
25	創域理工学部	経営システム工学科	University of California, Santa Cruz	教授	アメリカ	2026年3月18日 ~ 2026年3月30日	15	データセンターと電力システムの共創に関する共同研究および国際ワークショップ（2026 The International Workshop on Data Science, Industrial Engineering, Operations Research, and Management Science）の開催